湯河原校舎 高等部説明会

湯河原校舎正門

湯河原校舎西側

本日の説明内容

○湯河原校舎の概要について

・設置目的、設置場所、アクセス
・基本理念や方針
・校舎の整備内容　等

○学校生活について

・主に高等部の教育課程
（日課、学習内容、行事等）

湯河原校舎の概要

【開設】

令和３年９月１日（水）

【設置部門】

知的障害教育部門、肢体不自由教育部門

【設置学部】

小学部、中学部、高等部

【児童生徒数】

２０名（うち高等部は１３名・１年生５名
２年生８名）

＊高等部の募集人数は11月頃に確定します。

湯河原校舎の概要

給食の提供

スクールバスの運行

スクールバスについて

真鶴コース
湯河原コース
2台が走行しています。
行事等での中間利用もあります。

設置目的

西湘地域の特別支援学校の地域的課題（湯河原・真鶴地域に在住する児童・生徒の通学負担）に対応するため、旧湯河原中学校跡地の一部に小田原支援学校湯河原校舎が整備されました。

設置場所

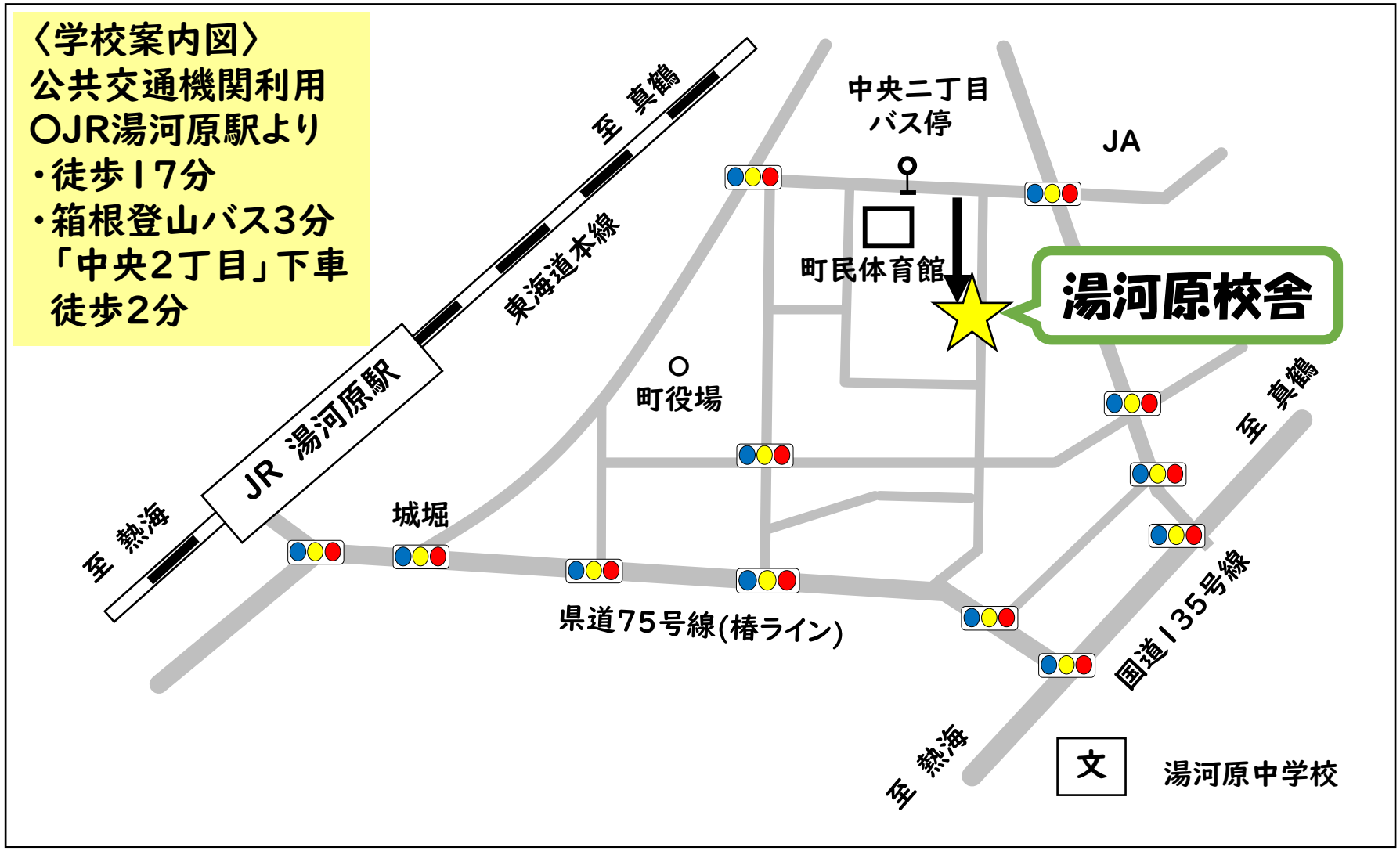
〒259-0301
神奈川県足柄下郡湯河原町中央2-21-3

- 町民体育館
- 防災コミュニティセンター
- ＪＣＨＯ湯河原病院
  （旧湯河原厚生年金病院）
- 地域作業所たんぽぽ
  が隣接しています。

★海も山もあって自然豊かな
環境にあります。

校舎の目の前にある「防災コミュニティーセンター」と「町民体育館」

アクセス



〒259-0301 神奈川県足柄下郡湯河原町中央2-21-3

基本理念

合言葉は

「つなぐ」

「つながる」

「つながりあう」

基本理念

人をつなぐ

地域でつながる

みんなでつながりあう

基本理念

一人ひとりが輝く学びの場

豊かな学びと
地域に根ざした安心できる生活の実現

湯河原校舎の使命

一人ひとりの
教育的ニーズに
応じた学びの実現

地域との
つながり
を大切にする

湯河原校舎の基本方針

『一人ひとりの教育的ニーズに応じた学びの実現』

地域の特色を生かす

地域の子どもたちと学びの時間の共有

本校の児童生徒との交流

おおらかで夢のある学びの実現

湯河原校舎の基本方針

『地域とのつながりを大切にする』

子どもたち自身が認められる場の設定

人の役に立つ経験を積む

現場実習を通してチャレンジする

自立と社会参加の実現

学校生活について

高等部の教育課程

＜始業時間と終業時間＞

始業時間	学部 （部門）	終業時間
９：００	高等部 （知・肢）	１４：５０

・水曜日１３：３０下校の時もあります。

高等部の教育課程

＜高等部　一日の流れ（例）＞

時程		活動
AM	９：００	登校・ホームルーム
AM	日常生活の学習（着替え、係活動等） 学習活動 給食指導（準備、配膳、食事、歯磨き等）	
PM	学習活動 日常生活の学習（着替え、帰りの支度等） ホームルーム	
PM	１４：５０	下校

高等部の教育課程（知的障害教育部門の一例）

＜高等部　学習の内容＞

○個別課題学習（国語・数学）
○グループ学習（理科・社会）
○日常生活の学習　○自立活動
（教科等を合わせた指導）

○作業
○職業・家庭
○保健体育

○音楽

○美術

○総合的な探究の時間
○特別活動

高等部の教育課程（肢体不自由教育部門の一例）

＜高等部　学習の内容＞ ※自立活動を主とした指導

○個別課題学習
○グループ学習
○日常生活の学習　○自立活動

（教科等を合わせた指導）

○理科・社会・家庭
○保健体育（運動）
○国語（コミュニケーション）
○音楽
○美術（造形）
○総合的な探究の時間
○特別活動

自立活動について

① 目標(学習指導要領より)

◎個々の児童生徒の自立を目指す。

◎障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う。

◎心身の調和的発達の基盤を培う。

② 内容

１，健康の保持　２，心理的な安定

３，人間関係の形成　４，環境の把握

５，身体の動き　６，コミュニケーション

高等部の教育課程

自立と社会参加を目指して

〇子どもたち一人ひとりのライフキャリアを見据えた教育

〇日常的に地域とかかわりながら、地域とともに学ぶ

- 校外学習
- ゲストティーチャーからの学び
- 職業（作業）学習
- 交流及び共同学習　など

〇福祉事業所や企業での現場実習

高等部の教育課程

＜主な行事＞

〇儀式的行事、体育・学習発表会等

〇遠足

〇宿泊学習

〇修学旅行

〇地域との交流活動　等

＊行事の内容により、
本校と共同学習を
実施する予定です。

湯河原校舎のゆるキャラ紹介

ゆがわらこうしゃ　ゆるキャラ
ユノッシー

自然豊かな湯河原校舎。みんなから愛されるキャラクター、イノシシをイメージし、湯河原の頭文字を入れて、親しみやすい名前「ユノッシー」と名付けました。
(作者より)

地域との交流・共同学習①

・湯河原駅ホームベンチへの座布団設置。カバーの洗濯、納品。

地域との交流・共同学習②

・湯河原ハロウィン(10月下旬)
　フォトスポット設置

ご静聴ありがとうございました。

吉浜海岸